

Topics

- 第11回深沢地区まちづくり検討部会全体会の概要についてお知らせします。
- JR大船工場跡地の土壌汚染等の対策処理等についてお知らせします。

第11回 深沢地区まちづくり検討部会全体会を開催

去る平成23年5月29日（日）、鎌倉青果地方卸売市場大会議室において「第11回深沢地区まちづくり検討部会全体会」（以下「全体会」という。）を開催しました。当日は、権利者24名の出席があり、意見交換が行われました。本号では、全体会の概要についてお知らせします。

*

*

*

全体会では、平成23年1月23日に市民を対象として開催した「土地利用計画（案）に関する説明会」（以下「説明会」という。）において、市民の皆さんからいただいた「住宅」、「道路」、「公園」、「事業スケジュール」などの意見等を説明し、質疑応答を行いました。（詳細については、深沢まちづくりニュース第17号参照）

また、平成22年9月に土地利用計画（案）が策定されるなど事業進捗が図られていること、権利者の方から今後の事業進捗に合わせ、再度、土地区画整理事業の仕組みと内容などについて説明してほしいとの要望をいただいたことから、今年度内に「土地区画整理事業の仕組み」や「換地」、「事業スケジュール（法決定等）」などをテーマとした権利者勉強会の開催を市から提案いたしました。（土地利用計画（案）については深沢まちづくりニュース第16号参照）



全体会風景

【全体会での主な意見と回答】

（権）：権利者 （市）：鎌倉市

・土地利用計画（案）における公園は一次避難所としての防災機能を充足した公園なのか。（権）

→ 計画している近隣公園を一次避難所となる防災公園として位置づけるためには、国交省が定めた防災公園整備プログラム等で定める面積要件1. 0ha以上、及び有効避難単位面積2. 0㎡/人を確保することが必要となります。

本計画（案）における近隣公園は、1. 4haの面積を確保していることから、当該プログラムの面積要件を充足するとともに、有効避難単位面積から逆算すると将来計画人口約3,100人を含む、約7,000人の一次避難者を受け入れることが可能であり、近隣住民や来街者等の受け入れも可能と考えています。（市）

・土地利用計画（案）以上の規模となるヘリポート機能を持った公園整備の要望が多くある場合は、市としても検討を進めなければならないと考えているが、どのようにお考えか。（市）

→ 公園は多くの市民も利用するものであり、その用地を権利者からの公共減歩だけで整備するのはおかしいのではないかと。（権）

→ 防災機能を持った公園の必要性は認めるが、権利者としてはできるだけ減歩を小さくし、最低限度の公園にしてほしい。（権）

・JR 大船工場跡地の土壌汚染について、仮に封じ込めを行う場合、封じ込める場所は全体会等において具体的に示されるのか。（権）

→ 土壌汚染対策については、JR からの正式な回答を受けてから、全体会において報告したいと考えています。仮に「封じ込め」を行う場合、具体的な位置についても全体会等で報告したいと考えています。（市）

・JRの引込線の扱いはJRが単独で検討するものなのか。（権）

→ 引込線の扱いについては、市からJRに対し早期廃止決定を要望していますが、JR大船工場跡地の土地利用転換が決まらな方向性が出ないことから、現時点ではまだ休止の状態のままとなっています。引込線により分断されている大船地域の各地区等からも様々な要望が挙がってきており、市としては、廃止が決まった段階で、その後の土地利用等については市を窓口とさせてほしい旨、JRに要望しています。（市）

・新駅構想は進んでいるのか。（権）

→ 神奈川県・藤沢市・鎌倉市の三者で新駅構想を含めた広域的なまちづくりの検討を進めています。新駅については、全市的な視点から新駅設置に係るメリット・デメリットの検討を行い、新駅設置負担等の方向性について検討を進めていきたいと考えています。（市）

その他、様々なご意見等をいただきました。

JR大船工場跡地の土壌汚染等の対策処理等について

◆JR大船工場跡地の土壌汚染対策処理について

JR大船工場跡地の土壌汚染の顕在化に伴い、これまで市とJRと一緒に土壌汚染対策等を踏まえた土地利用検討を進めてきましたが、平成23年6月にJRから市に正式に土壌汚染対策を「完全浄化」で行う方針が示され、同月16日に市議会にて報告しました。

◆JR大船工場跡地を使用した列車走行実験の実施について

急曲線を列車が走行する際、車輪とレール間に作用する様々な現象を把握するため、既存の引込線を利用したの走行実験を、JRが今年度内に実施することとしています。

使用予定地内にあるビニールシートで覆った土壌汚染箇所は、走行実験時にレールのみ露出させ、実験終了後は大雨や強風により飛散がないよう、これまで同様シートで覆います。

なお、走行実験の実施は、市とスケジュール調整を行いながら、まちづくりへの影響がない範囲で行うこととしています。

深沢まちづくりニュースは市のHPでもご覧いただけます。今後も、より良いまちづくりに向け、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ：

鎌倉市 拠点整備部 鎌倉深沢地域整備課

〒247-0056 鎌倉市大船二丁目7番8号

TEL：0467-44-7071 FAX：0467-47-3029

E-mail：kamafuka@city.kamakura.kanagawa.jp

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/index.htm>